

いばらきリスキリングプロジェクト

リスキリング推進 シンポジウム

スキルのアップデートで、自らの可能性を広げよう!

2024 **2/7** [水] 15:00-17:30

プログラム

- 15:00 | **開会** 主催者挨拶:茨城県知事 大井川 和彦
- 15:05 | **第1部 表彰式** 2023年度茨城県リスキリング推進企業等表彰
- 15:30 | **第2部 基調講演**
テーマ:「リスキリング推進の必要性」
～中小企業におけるリスキリング実践に向けて～
講師:後藤 宗明氏 (一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事)
- 16:40 | **第3部 パネルディスカッション**
ファシリテーター:後藤 宗明氏 (一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事)
パネリスト:武藤 正浩氏 (関東道路株式会社 代表取締役)
小田倉 久視氏 (株式会社ヒバラコーポレーション 代表取締役社長)
- 17:30 | **閉会**
※会場参加者限定で、閉会后18:00まで、
講師・表彰企業・参加者様同士の交流時間を設けております。



アーカイブ配信について

当日のライブ配信動画をYouTubeでご視聴いただけます。

視聴期間:2024年3月31日(日)まで

詳しくは、HPをご覧ください。

<https://ibaraki-rs.jp/symposia/#cnt02>



ポータルサイト案内

リスキリングに関する情報、リスキリング推進宣言
制度について、各種関連情報を掲載しています。



<https://ibaraki-rs.jp/>



リスキリング取組状況に関する アンケートのご協力について

本日はご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

今後の参考にさせていただくため、

皆様からの貴重なご意見・ご感想をお聞かせください。

アンケート回答はこちら

<https://forms.office.com/r/f4pHvvaWwZ>

回答期限:2024年2月14日(水)まで



茨城県リスクリング推進企業等表彰

県では、自らの経営戦略のもとリスクリングを推進し、生産性の向上や新分野への進出、従業員の処遇改善に積極的に取り組んでいる企業を、「リスクリング推進企業」として表彰します。

ベスト
プラクティス
企業

関東道路株式会社

主要業種：建設業



建設分野から環境ソリューション分野へ
戦略的に事業拡大



企業概要

代表者 武藤 正浩
本社所在地 茨城県筑西市下川島635番地
県内事業所所在地 茨城県結城市小森1850番地（結城営業所）
従業員数 48名
創立 1972年
事業概要 建設業、リサイクル業、製造業、環境事業など



①リスクリングの方針決定・体制整備

- GX分野への進出を目指し、リスクリング推進の指針となる人材戦略を策定。経営者自らリスクリング推進責任者となり、会社を挙げてスキルの習得を推進。
- 「ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム(SRP)」の構築の取組みは、自社内に限らず、関連企業社員のリスクリング、業務効率化にも寄与。

③スキル習得機会の提供

- 年間教育計画に基づき、各部門の役職や職責に応じた研修プログラムを提供し、社員個々に求められるスキルの習得を推進。
- 資格試験受験料・講座受講料等、スキル習得に係る費用を全額負担。協力企業のスキル習得費用の一部も負担。



②リスクリング環境の整備

- 年度当初に、月ごとの年間教育計画を策定することで、業務時間内にスキル習得に取り組めるよう通常業務を調整し、社員のリスクリング環境を整備。
- SRP準備室所属の社員は、システム開発企業との打合せやシステム開発の工程に参画することで、業務の一環として必要なスキルを習得。

④評価・処遇の改善

- リスクリング推進のインセンティブとして、スキルの習得状況や達成した成果を踏まえ、人事評価・処遇制度に反映。
- 人事評価・処遇改善の基礎情報として、リスクリングによる業務効率の向上や改善の結果を客観的に評価する仕組みを構築。

評価ポイント

-  建設分野からソーラーパネルリサイクル分野へ戦略的に事業拡大を進めるため、専門部署を設立し、デジタル分野・グリーン分野のリスクリングを先進的に推進している。
-  スキル習得に係る費用を全額負担するとともに、スキルの習得状況や達成した成果を客観的に評価する仕組みを構築し、処遇改善を図っている。

ベスト
プラクティス
企業

株式会社ヒバラコーポレーション

主要業種：製造業



工業塗装事業をベースに、
製造業向けDX・GX支援事業にも進出



企業概要

代表者 小田倉 久視
本社所在地 茨城県那珂郡東海村村松3135-85
県内事業所所在地 茨城県那珂郡東海村村松3135-85（本社工場）
茨城県那珂郡東海村村松3115-14（第2工場）
従業員数 51名
創立 1972年
事業概要 ソリューション事業、工業塗装事業



①リスクリングの方針決定・体制整備

- 工業塗装事業をベースに、さらなる経営拡大を図るため、ソリューション事業を担う専門部署を設置。新たなデジタルビジネスやコンサルティング事業を展開。
- AIやロボット技術を活用した自社内外でのDX・GX実現に向け、必要となる知識や技能等のリスクリングを推進。

③スキル習得機会の提供

- 産業ロボット導入などに向けた社外講習の受講を積極的に推奨。会社の業務に必要な資格試験や講習に要する費用は全額負担し、社員の学びを支援。
- 定期的な面談（1on1ミーティング）で各個人の意向を確認しつつキャリア形成を支援することで、適時適切なリスクリングを積極的に推進。



②リスクリング環境の整備

- ソリューション事業において、AIやディープラーニング等の先端技術を活用するにあたっては、システム開発企業との対話による開発（アジャイル開発）を採用。
- アジャイル開発を推進するなかで、社員が必要なスキルを習得。業務時間内におけるリスクリング時間を確保。

④評価・処遇の改善

- 各個人の業務遂行能力や習得スキル等に応じて、処遇を改善する人事評価制度を構築。資格手当やスキル活用による手当に係る処遇制度も整備。
- リスクリングで習得したスキルを活用できるよう、塗装部門の社員を管理部門へ配置転換するなど、機動的に人事体制を運用。

評価ポイント

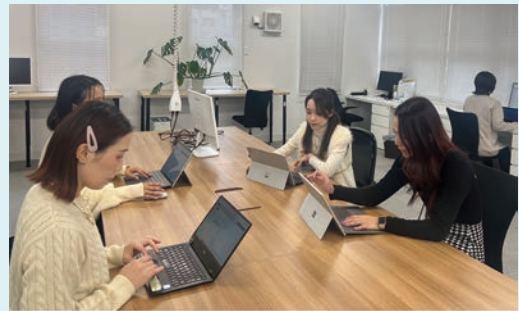
-  専門部署を立ち上げ、生産管理・設備管理のシステム開発や産業ロボット導入等によりDXを進めるとともに、デジタルスキルを中心に従業員のリスクリングに着手している。
-  業務時間内にスキル習得時間を確保し、必要な費用を全額負担するとともに、スキルの習得成果を処遇へ反映している。

茨城県リスキリング推進企業等表彰

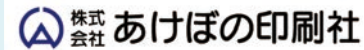
グッド
プラクティス
企業

株式会社あけぼの印刷社

主要業種：製造業／印刷・梱包関連業



印刷企業から、
「顧客の情報伝達をサポートする企業」へ



企業概要

代表者 山田 周
 本社所在地 茨城県水戸市白梅1-2-11
 県内事業所所在地 茨城県東茨城郡茨城町奥谷1720-16(茨城町事業所・工場)
 従業員数 90名
 創立 1946年
 事業概要 印刷業 (POP、パネル、カタログ、チラシ、商品券など)、
 店内販促物、WEB広告運用代行、マーケティング支援、
 フリーペーパー、物流代行など

①リスキリングの方針決定・体制整備

- 紙印刷業中心の経営から、「顧客の情報伝達をサポートする企業」へ移行するビジョンを社員と共有し、必要なスキルの習得について目標を設定。
- 新たなIT技術への適応力を高めるため、社内システム部門を強化し、デジタル化の進展に対応。

③スキル習得機会の提供

- 会社として受講を推奨する外部セミナーの情報を社内共有し、希望者には、講座受講料や交通費等の必要な費用を全額負担。
- リスキリングを効果的に進めるため、年2回の面談を実施し、各社員に期待される成果や目標を共有。今後のキャリアプランニングも議論。



②リスキリング環境の整備

- 業務効率化により所定の仕事を終えた時点で退社する「短時間勤務」を導入することで、約1割の社員が、月平均1時間短縮した勤務を実現。
- シフト勤務等の柔軟かつ効率的な就業環境を整え、スキル習得時間を確保することで、社員のリスキリング環境を整備。

④評価・処遇の改善

- スキル習得後の配置換え(クリエイティブ職から営業職へ)や、新規プロジェクトへの参画などを通じて、キャリア形成の機会を積極的に提供。
- スキル習得の成果を直接的に処遇改善につなげるため、会社の利益を社員へ還元する制度や資格手当等の制度を整備。

評価ポイント

-  短時間勤務制度の導入など、柔軟かつ効率的な働き方環境を整備することにより、スキル習得時間を確保している。
-  成果を上げた社員に対し利益を還元するための処遇制度を構築、社員のスキル習得に向けたインセンティブとしている。

グッド
プラクティス
企業

株式会社サシノベルテ

主要業種：医療・福祉



デジタル変革により業務フローを効率化



企業概要

代表者 久保田 嘉郎
 本社所在地 茨城県桜川市真壁町飯塚1006番2号
 県内事業所所在地 茨城県石岡市府中1丁目3-3(本部事務センター)
 従業員数 417名
 創立 2015年
 事業概要 障害福祉サービス

①リスキリングの方針決定・体制整備

- 労働力に対する依存度が高い福祉分野において、人材不足を打開するため、業務フローのデジタル変革・効率化を目指し、戦略的にDX推進人材を育成。
- 外部DX教育サービスの活用などリスキリングの実施体制を構築するとともに、代表自らが率先してリスキリングの重要性を訴え、社員の理解を醸成。

③スキル習得機会の提供

- 外部DX教育サービスを導入し、全額負担により、個人のスキル習得を支援。特に、DX推進人材として、バックオフィス部門と直接支援部門の社員を育成。
- 半年に1回、社員との個別面談を実施し、キャリアビジョンを明確化したうえで、キャリア形成に必要なスキルをコーチング。



②リスキリング環境の整備

- デスクワーク社員の業務の棚卸しや、効率化ソフトの導入などにより業務改善を図り、社員が週2時間のスキル習得時間を確保できる体制を構築。
- スキル習得に取り組む時間の確保を公然のものとするすることで、社員がリスキリングに取り組みやすい環境を整備。

④評価・処遇の改善

- 社員の全業務を棚卸しし、業務の質・量に応じて役職・給与が紐づいた評価テーブルを整備。年間実績をもとに評価し、昇給する制度を確立。
- リスキリングによる優良事例については、社内共有の場を設定。特に成果を上げた社員には、別途表彰も実施。

評価ポイント

-  DX推進人材の育成戦略を明確化した上で、外部の教育プログラム等を活用しながら、デジタルスキルの習得を図り、業務フローのデジタル変革を推進している。
-  習得スキルを活用した業務効率化の成果に基づき、評価し、昇給するといった処遇制度を構築している。

茨城県リスクリング推進企業等表彰

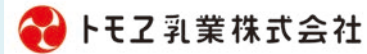
グッド
プラクティス
企業

トモエ乳業株式会社

主要業種：製造業／食料品・飼料製造業



求められるスキルを明確化し、
さらなる生産性の向上を推進



企業概要

代表者 中田 俊之
本社所在地 茨城県古河市下辺見1955
県内事業所所在地 同上
従業員数 343名
創立 1956年
事業概要 牛乳・乳製品・各種飲料・デザート類の製造・販売、
チルド食品物流事業など



① リスクリングの方針決定・体制整備

- 求められるスキルを明確に設定した人材育成プログラムのもと、社員の7割が従事する食品製造部門の設備稼働率の向上など、生産性のさらなる向上を推進。
- 必要なスキルについては、部門別・職位別に明確化し、資格取得や外部講習会等への参加のほか、社員を講師とした社内研修を積極的に推進。

② リスクリング環境の整備

- 食品製造技術や設備技術等、社員自らが作成した100教科にのぼるテキストや理解度テストを活用した、独自の学習制度(TMS*)を整備、運用。
- TMSを中心とした研修時間は、年間一人当たり平均29時間を確保。
*TMS：「T(つくろう) M(学ぼう) S(成長しよう)」の略


③ スキル習得機会の提供


- 資格取得支援制度として、必要な国家資格については、受験料・交通費を支給。さらに、難易度に応じた報奨制度を導入。
- 年2回の面談により本人の意向や適性等を把握するとともに、希望する職種への異動機会を提供することで、職場ローテーションによる多能化を推進。

④ 評価・処遇の改善

- 2022年4月、生産技術課を新設。社内に必要なスキルに秀でた人材を配置し、スキル向上が求められる社員のスキル習得をマンツーマンで支援。
- 人事評価・処遇制度を体系化した昇給制度を整備し、処遇に反映。必要な国家資格取得者に対しては、難易度に応じ報奨に反映。

評価ポイント

 生産性向上のために求められるスキルを明確化した人材育成プログラムを構築し、体系的にリスクリングを推進している。

 生産技術向上を図る部署を新設し、デジタルスキル等に秀でた社員を配置のうえ、社内でのリスクリング推進にあたるなど、社員のスキルを積極的に活用している。

NEXT

引き続き取組が期待される企業5社 [奨励賞]

株式会社日宣メディックス



代表者 上金 健一
本社所在地 茨城県水戸市元吉田町716-3
県内事業所所在地 日立市、つくば市、神栖市、結城市
従業員数 70名
創立 1984年
主要業種 サービス業
事業概要 各種マーケティング支援

株式会社ノーブルホールディングス



代表者 福井 英治
本社所在地 茨城県水戸市笠原町1196-15
県内事業所所在地 水戸市、笠間市、日立市、ひたちなか市、那珂市、神栖市、
鹿島市、土浦市、つくば市、守谷市、筑西市、古河市
従業員数 611名
創立 1994年
主要業種 注文住宅・建売分譲事業、特殊建築物、リフォーム、各種保険代理
不動産仕入・仲介事業、賃貸住宅企画管理、中古住宅の売買・再販売、
リフォーム工事、アフターメンテナンス、建築工事、大工工事、
土木工事、電機・設備工事、産業廃棄物処理

富士水質管理株式会社



代表者 白山 隆一
本社所在地 東京都世田谷区宇奈根1-22-4
県内事業所所在地 茨城県水戸市河和田3-2329-1(茨城営業所)
従業員数 75名
創立 1974年
主要業種 サービス業
事業概要 給排水設備・浄化槽のメンテナンス

税理士法人報徳事務所



代表者 赤岩 茂
本社所在地 茨城県古河市上辺見2120-2
県内事業所所在地 同上
従業員数 33名
創立 2002年
主要業種 学術研究、専門・技術サービス業
事業概要 税理士業

水戸ヤクルト販売株式会社



代表者 内藤 学
本社所在地 茨城県水戸市谷津町1-35
県内事業所所在地 同上
従業員数 190名
創立 1965年
主要業種 卸売業、小売業
事業概要 乳製品乳酸菌飲料・発酵乳・健康機能性食品・
ジュース清涼飲料・化粧品およびその他食品類の販売

茨城県リスキリング推進政策パッケージ 概要版

現状認識

我が国の産業の動向

- 人口減少やDX・GXの進展により、**産業構造が急速に変革**
- 我が国の一人あたりGDPは、大きく後退し、**賃金の伸びも低水準で推移**
- 将来、**雇用のミスマッチやスキルギャップ**が発生（エンジニアの需要増、事務・販売従事者の需要減）



高齢化の推移と将来推計

区分	2021年	2065年	増減
15～64歳	7,450万人	4,529万人	▲39%
総人口	12,550万人	8,808万人	▲30%

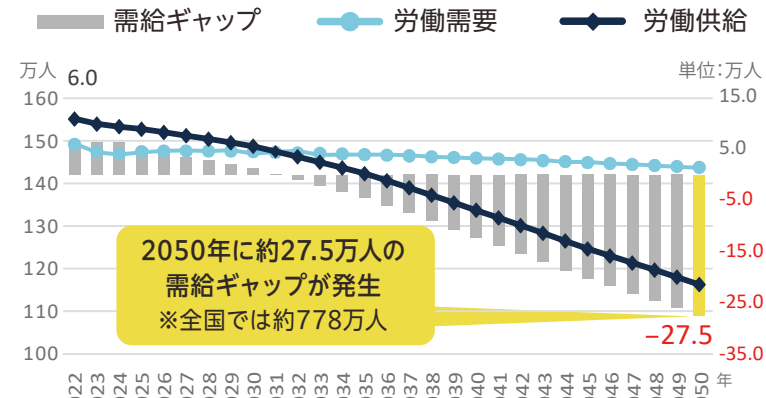
(2023年版高齢社会白書)

労働需要の推計

区分	2020年	2050年	増減	
製造業	エンジニア IT技術者、製品開発者等	102万人	144万人	41%
	事務・販売従事者	236万人	144万人	▲39%
卸売・小売業	エンジニア(同上)	42万人	48万人	14%
	事務・販売従事者	753万人	524万人	▲30%

(経済産業省：未来人材ビジョン)

本県における労働需給シミュレーション(全産業)



参考：本県における労働需要の見通し/2023.9中間とりまとめ
(国調査等を参考に本県が独自に調査)

今後の取組の方向性

本県産業の持続的発展には、あらゆる施策を総動員し、**戦略的・体系的に政策展開**を図ることが必要。

特に、人手不足分野での人材確保に加え、人的資本の観点から、リスキリングにより、企業において求められるスキルの習得を支援し、生産性向上や賃金水準の向上の実現を図ることが喫緊の課題。

リスキリング推進上の課題

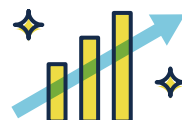
多くの企業において、**総論としてリスキリングの意義を理解**しつつ、例えば、**人材の流出に懸念**が示されるなど、その**意義が十分に理解**されていない。

また、多くの企業が、リスキリングの推進に関心を寄せつつも、成長産業・分野で求められるスキルがイメージできておらず、**何をリスキリングしてよいか分からない。**



リスキリング推進による将来像

企業・企業人が、自らの成長戦略・キャリアデザインのもと、**意欲的にリスキリングに取り組むことにより、新たな産業・分野で必要となる知識やスキルの習得が進み、成長産業や成長分野への円滑な労働移動と企業及び社会全体の生産性の向上、賃金水準の向上**が図られている。



リスキリング推進施策① 意識啓発・機運醸成

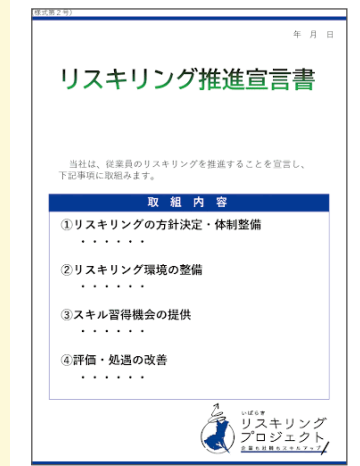
01 推進宣言制度の創設・先進企業の顕彰

リスキリング推進宣言制度を創設し**先進的な企業を顕彰**。
リスキリングの**マニュアル**を作成し、企業の取組を後押し。

事業KPI(3年間)

リスキリング推進宣言企業数 **150社** / うち顕彰企業数 **30社**

企業人約50,000人*のリスキリング環境を構築
*県内大企業の50社、中規模の企業の100社が
リスキリング環境を構築することを想定

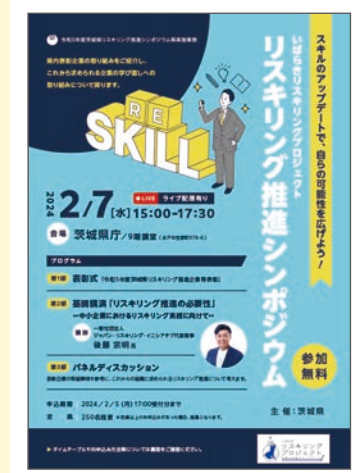


02 ワークショップ・シンポジウムの開催

ワークショップ(経営者向け)▼

ワークショップ(人事担当者向け)▼

シンポジウム▼



03 ポータルサイトの開設・運営

リスキリングの意義・必要性、先進事例、推進施策、イベント等の**情報発信**。



いばらきリスキリングプロジェクト
<https://ibaraki-rs.jp/>



リスキリング推進施策② スキル習得支援

01 スキルの見える化

生産性向上と競争力強化の鍵となる**デジタルスキル**、業種を問わず求められる**ポータブルスキル**の習得が必要。



デジタルスキル

データ分析、システム設計、AI、UIデザイン、セキュリティ等



ポータブルスキル

問題発見能力、将来を見通す力、革新性、戦略的思考等

02 県認定講座の設置

デジタルに関する「**基礎的な知識**」の習得に加え、それらの知識を実際の企業活動の現場で活用し、課題解決につなげる「**実践力**」の習得を支援。



実践講座

受講対象者 | Di-Liteレベルの知識を有する県内在住の企業人

講座内容 | テーマ：①生産管理（製造業）、②顧客管理（業種横断）

内容：◆先進事例企業見学 ◆受講者の所属する企業の見学
◆グループ単位でのデジタル化計画の検討 ◆検討内容の発表

日程 | 7日間（平日、土日）

受講料 | 費用の一部を受講料として徴取することにより、受講者の主体的・意欲的な取組を喚起

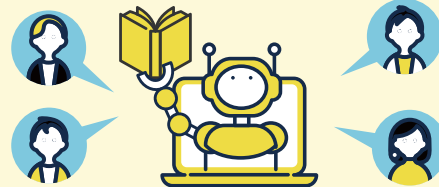
修了者を県が認定する制度を導入
（オープンバッジの活用等）

オープンバッジのイメージ▶



03 AIマッチングシステムの開発・運用

職種や職歴・年齢・保有資格、アンケート等から**各人に適したリスキリング講座（デジタルスキル・ポータブルスキル）**をマッチング。



宣言制度・県認定講座等のお問い合わせ先

茨城県産業戦略部産業人材育成課人材育成グループ

029-301-3653

rousei4@pref.ibaraki.lg.jp

基調講演 講師 & パネルディスカッション ファシリテーター

一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ
代表理事

ごとう むねあき
後藤 宗明氏



1995年富士銀行（現みずほ銀行）入行。渡米後、グローバル人材育成領域で起業。帰国後、米国の社会起業家支援NPOアショカの日本法人を設立。米国フィンテックの日本法人代表、通信ベンチャー経営を経て、アクセシビリティにて人事領域のDXと採用戦略を担当。2019年AIスタートアップのABEJAにて米国拠点設立、事業開発、AI研修の企画運営を担当。

10年かけて自らを「リスキリング」した経験から、2021年、リスキリングに特化した非営利団体、一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブを設立。2022年、AIを利用してスキルを可視化するリスキリングプラットフォーム、SkyHive Technologiesの日本代表に就任。

経済産業省「スキル標準化調査委員会」委員、広島県「リスキリング推進検討協議会/分科会」委員、石川県加賀市「デジタルカレッジKAGA」理事、リクルートワークス研究所客員研究員を歴任。政府、自治体向けの政策提言および企業向けのリスキリング導入支援を行う。

著書に「自分のスキルをアップデートし続ける『リスキリング』」、「新しいスキルで自分の未来を創る『リスキリング』」（日本能率協会マネジメントセンター）。

パネルディスカッション パネリスト

関東道路株式会社
代表取締役

むとう まさひろ
武藤 正浩氏



昭和大学薬学部（薬剤師）を卒業後、ファイザー製薬に入社。その後、医療系コンサル会社代表、日本保険薬局協会設立理事等を経て、2002年7月関東道路（株）代表取締役に就任。環境ビジネスが企業経営を変えようと考え、2006年より従来の建設会社から環境ビジネス企業へとシフトを変え、国土交通大臣賞、環境大臣賞、地球に優しい企業表彰（茨城県知事）、経済産業省の地域未来牽引企業認定など、様々な表彰・認定を受ける。

2021年ソーラーパネルリサイクル情報処理で特許を取得し、DX事業をスタート。リスキリングやリカレント等を積極的に取り入れ、仕事そのものをDX事業として発展させている。

株式会社
ヒバラコーポレーション
代表取締役社長

おだくら ひさみ
小田倉 久視氏



中央大学卒業後、（株）日立エンジニアリング入社。（有）ヒバラ工業入社、専務取締役に就任。（株）ヒバラ工業に組織変更、代表取締役に就任。（株）ヒバラコーポレーションに社名変更。

技術経営（MOT）修士取得後、次世代型工業塗装のビジネスモデルを立案し特許を取得。現在は、AIやロボット技術を活用した自社塗装工場のスマート化をめざすと共に、その過程で得たノウハウをDX・GXソリューションとして、各製造業向けに展開する事業を手掛ける。